

2010 年度を終えて、2011 年度の初めに

総会のお知らせの中で、一理事に会長をキャプテンにたとえてもらいました。昨年5月9日に出航した日本人会丸は無事に1年後「総会」という名の港に返って参りました。その間強風には会いましたが、あまり船を揺らせる事なくスムーズな航海を続ける事ができたと思っています。これも献身的で優秀な理事と、頼めばさっと支援の手を差し伸べてくださる乗客中のヘルパーの皆さんのおかげであったと深く感謝しています。ありがとうございました。

2010 年度は望星校でのソフトボール会とオーデンセでの運動会が参加者不足の為に中止となりましたが、その他の催し物は大成功を収めました。全てが順調に進んでいた時に起こったのが3・11の大震災でした。

今までデンマーク内の日本人の存在しか対象にしていなかった会の活動でしたが、災害に見舞われた為に祖国に焦点が移動しました。このような大事の時こそお互いの家族、あるいは会員自身の安否を確認するネットワークが必要であるという理由で20年前に成立された日本人会の目的が見事に立証されて、3月11日から3日後には、理事会には、全国にちらばる大方の会員達、その家族の消息が把握でき、2,3の例をのぞいて、酷い被害がなかったという事実全員ほっとしました。そしていち早く募金口座を開設して義援金を集めだしたのが3月14日でした。それから一斉に全国の会員が募金運動に参加し始めた、この時こそ一番みんなが「連帯」感をひしひしと感じた時ではないか、と思います。その結果4月30日に口座を閉鎖した時の義援金額は、Kr.261.437,50。この小さい組織で短期間によくやったと新聞紙上でデンマーク赤十字にも褒めて頂きました。

勿論募金口座の閉鎖が日本への支援の終了であるとは思っていませんが、一つの課題を日本人会が一体となってこなしたという清清しさはあります。今度は第2段階の支援をこの会で議論したいと思います。

2011 年度の20周年記念祭は、結局見送る事にして、記念祭は次の25周年まで待ちたいと思います。が、記念行事として計画しました「デンマークに暮らす」のweb化は実現する方向で動いています。

会員が増加する一方の中、古い会員も新しい会員もユランとフュンの集い、マザーグループ、青年団、シニアの会、とそれぞれの集まりの中で親睦を基礎にしています。このネットワークを堅固なものにし、外部の挑戦に 대응していける会にしたいと希望します。

来る1年あまり波風が強くありませんように、と願う一方、この理事会のメンバーと一緒に何でもどんと来い、という感じもしています。どのような事があっても2011年度も理事会と一丸となって「誠実に・素早く・思慮深く」の3Sをモットーにして進んでいきたいと思っていますので、皆さんの変わりないご協力をよろしくお願いいたします。

2011 年度会長

和子・マイヤー

Venligst læs i www.jdnet.dk/ på dansk